

各地連会長、役員の皆様へ

公益財団法人 全日本弓道連盟

会 長 増田 規一郎

日ごろは全日本弓道連盟の活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中お亡くなりになった方に心よりお悔やみを申し上げますとともに、罹患された方の一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大により、日本の社会各所に大きな影響が及んでおりますが、各地連会長の皆様にも地連運営にご苦労されていることと存じます。

全弓連におきましても、JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内への感染者立入発覚や各地での感染拡大を契機に、2月下旬以降理事会開催が困難な状況となっております。

新年度を迎え、事業計画並びに収支予算書の審議・承認を始め、大会、審査、行事等の計画やそのほかの課題についてもご意見を伺わなければならないのですが、理事会開催が困難な状況の中で、京都大会並びに〔京都〕定期中央審査など5月の行事については緊急的に中止を急遽決定せざるを得なくなったところであります。

また、今般の緊急事態宣言により首都圏や関西、福岡など人の動きはさらに一段の自粛を要請されました。政府の発表によると期間は1か月程度ということではありますが、その後の情勢はなお流動的なものと思われまます。

このような中で連盟としては、理事会開催が困難な状況が継続すると想定されるために、文書提案などによる議決を取ることや、また委員会活動や部会の活動なども十分に行えないことが懸念されるために、理事会や委員会の補完機能として当面のあいだ連盟に緊急対策室を設置して対策の検討を速やかに行うなど、諸事に即応する体制を検討しております。また一方今の状況が長引くことも考えますと、特に地連の皆様とのより一層の意思疎通が大切となると思ひます。お互いにできる限りの連絡連携が取れるように、その方策の検討を含めて事務局に指示をしております。

全弓連としては全弓道人とその関係者の健康と安全を守り、社会の感染拡大防止をすることを最優先に考えて今後非常時としての状況を踏まえた対応策を実施してまいります。

各地連会長、役員の皆様においても、地域によっては行事の中止や延期の手配などに奔走されまた多くの面でご心労が増えていると存じまますが、こういう時にこそ、弓道の修練で得られた胆力と互いの協力でこの困難を乗り越って行きたいと考えておりますので改めてのご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

皆様ご自身もくれぐれも健康にご留意の上お過ごしください。